

女性技術者ネットワーク開催報告

化学工学会男女共同参画委員会では女性会員相互の情報交換の場を提供する「女性技術者ネットワーク」を年2回、本部会議室にて開催しています。女性研究者・技術者が少ない化学工学分野では、女性は会員同士の情報交換の場に参加しにくく、男性間では当たり前のように交換される情報をなかなかキャッチできない、また、せっかく学会に参加しても知り合いが少なく、ざっくばらんな情報交換や仕事の悩みや愚痴を言い合える仲間もなかなか見つからない、といったことがあります。そこで、この会では、地道に知り合いを増やしつつ、お互いの貴重な経験や悩みを共有することで、お互いに前に進んでいければとの思いで、先輩女性のライフ・ワーク・バランスや研究に関する貴重な経験などに関する講演とともに、参加者のお互いの情報交換のために、女性限定で開催されています。

12月6日に、今年度2回目の会を、講師を含め17名の女性研究者・技術者の参加者を得て化学工学会本部会議室にて開催しました。尚、この会は企業にお勤めの方も参加しやすいように、18:30から開催されています。今回の講師は早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 環境資源工学科の所千晴准教授と、株式会社東芝 電力システム社 電力・社会システム技術開発センター 機械システム開発部熱流体機器開発担当 岩城智香子グループ長のお二人。

当日は、男女共同参画委員会 藤岡恵子委員長の司会にて講師紹介から始まり、所氏からは自分を知ってもらうための音楽のある自分の人生の歩みと研究経歴を、岩城氏からは自分が担当した技術開発内容と原子力関連の職場状況を主としてお話し頂きました。その後の交流会では、講師と参加者とで賑やかな情報交換が行われ、皆様が新しいお仲間とお知り合いになることができました。

